

## 1. 教育計画

## 在宅看護論

分野	統合分野 在宅看護論	科目名	在宅看護活動論Ⅱ
単位・時間	1 単位・30 時間（授業 28 時間）	対象学年	2 年生
方法	講義	時期	後期
講師名（担当時間数）	法人講師（2 時間） 法人講師（2 時間） 専任教員 菅野 由美（24 時間）		
講師の実務経験	看護師として他病院に 11 年、星総合病院に 1 年 4 か月		
学習目標	1. 在宅看護の対象者である、療養者とその家族の理解を深め、在宅に視点をのいた看護過程を展開できる 2. 在宅療養者とその家族を対象とした訪問看護サービスとしての活動理解する		
成績評価方法	筆記試験・提出課題 出席状況・授業態度・提出物の期限厳守等も評価に含む		
使用テキスト	医学書院：系統看護学講座 統合分野 在宅看護論 メディカ出版：ナースング・グラフィカ 在宅看護論 地域療養を支えるケア 配布資料		
参考文献	医歯薬出版：新版 在宅看護論 メディックメディア：公衆衛生が見える		
履修上の留意	在宅看護概論、在宅看護活動論Ⅰの復習を行い講義に臨むこと		
講師からのメッセージ	これまでの在宅看護の学習を踏まえ、事例を通して在宅に視点をのいた看護過程を展開します。療養者や家族が安心して生活するための、アセスメント及び援助の視点を学んでいきましょう！		

## 2. 授業計画

回	時間	主題	授業内容	形態	備考
1	2	地域包括支援センターからの支援	地域包括支援センターによる地域の支援 保健・医療・福祉サービスとの連携 連携の必要性・意義について	講義	財団 講師
2	2	その他の地域資源	地域の困難ケースへの支援 (福祉丸ごと相談窓口の立場から)	講義	財団 講師
3	2	在宅における看護過程について 事例 1 看護過程展開	アセスメントカテゴリーの紹介 在宅看護過程展開のポイント 事例 1 紹介・情報収集 事例 1 に沿って在宅療養者・家族の看護展開を行う 情報収集・アセスメント	講義	GW

回	時間	主題	授業内容	形態	備考
4	2	アセスメント共有	アセスメントの共通理解、方向性の確認	講義	
5	2				
6	2	看護計画	在宅看護の特徴を踏まえた看護計画	講義	GW
7	2	看護計画の共有	看護計画の内容を共有する	講義	
8	2	事例2 看護過程の展開	事例2紹介 情報収集・アセスメント		
9	2	事例2 看護過程の展開	情報収集・アセスメント	講義	
10	2				
11	2	アセスメントの共有 看護計画立案	アセスメントの共通理解、方向性の確認 在宅看護の特徴を踏まえた看護計画	講義	
12	2	看護計画の共有	看護計画の内容を共有する	講義	
13	2	様々な疾患・障害が ある療養者の看護過 程の展開	認知症の療養者 難病の療養者 精神障害のある療養者 終末期にある療養者	講義	
14	2				
15	2	評価	筆記試験		